

小麦・大豆の国産化の推進

令和8年度予算概算決定額 36百万円 (前年度 35百万円)

〔令和7年度補正予算額 7,008百万円〕

＜対策のポイント＞

産地と実需が連携して行う**麦・大豆の国産化を推進**するため、施肥・防除体系の構築等による**生産性向上**や**増産**を支援とともに、国産麦・大豆の安定供給に向けた**ストックセンター等の再編集約・合理化**や**民間主体の一定期間の保管等**、**新たな生産・流通モデルづくり**や**更なる利用拡大**に向けた**新商品開発等**を支援します。

＜事業目標＞ [令和5年度→令和12年度まで]

- 小麦生産量の増加 (109万t→137万t)
- 大麦・はだか麦生産量の増加 (23万t→26万t)
- 大豆生産量の増加 (26万t→39万t)
- 国産小麦・大豆の保管数量 (小麦: 28,774 t→90,000t、大豆: 6,258t→25,500t)

＜事業の内容＞

1. 国産小麦・大豆供給力強化総合対策 36百万円 (前年度35百万円) 【令和7年度補正予算】5,008百万円

① 生産対策 (麦類生産技術向上事業)

麦の生産性向上を目指す産地に対し、**施肥・防除体系の構築等**を支援します。

② 流通対策

ア 麦・大豆供給円滑化推進事業

国産麦・大豆を**一定期間保管**するなど、安定供給体制を図る取組を支援します。

イ 新たな生産・流通モデルづくり事業

麦の品質向上や極多収大豆の種子生産に加え、新品種の導入、フレコンの本格導入、実需者の加工試験など、**新たな生産・流通モデルづくり**を支援します。

③ 消費対策 (麦・大豆利用拡大事業)

国産麦・大豆の利用拡大に取り組む食品製造事業者等に対し、**新商品開発等**を支援します。

2. 新基本計画実装・農業構造転換支援事業のうち

麦・大豆ストックセンターの再編集約・合理化

【令和7年度補正予算】2,000百万円

国産麦・大豆の安定供給を後押しするため、**ストックセンター等の再編集約・合理化**を支援します。

＜事業の流れ＞



(1 ①の事業)

(1 ②の事業)

(1 ③の事業)

(2事業)

【お問い合わせ先】
(1 ①、1 ②ア(大豆)、1 ②イ、2 の事業)
(1 ②ア(麦)、1 ③の事業)

麦・大豆の国産化を一層推進

農産局穀物課 (03-6744-2108)

農産局貿易業務課 (03-6744-9531)

＜事業イメージ＞

① 生産対策



麦の施肥・防除体系の構築
(定額 (2,000円/10a以内))



生産性向上の推進 (定額)

② 流通対策



- ・ストックセンター等の整備 (1/2以内)
- ・一定期間の保管等 (定額、1/2以内)
- ・新たなモデルの実証 (定額、1/2以内)



新商品の開発等 (定額、1/2以内)

③ 消費対策